

北九州エアターミナル株式会社

北九州エアターミナル株式会社

I 法人の概要（平成 28 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市小倉南区空港北町 6 番

2 設立年月日

平成元年 5 月 1 日

3 代表者

代表取締役社長 片山 憲一

4 資本金

3,524,000 千円

5 北九州市の出資金

1,000,000 千円（出資の割合 28.4%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	11 人	0 人	1 人	10 人
常 勤	3 人	0 人	1 人	2 人
非常勤	8 人	0 人	0 人	8 人
社 員	17 人	0 人	2 人	15 人

7 市からのミッション

市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取組を進め、安定的な財務状況を維持し、公共性の高い空港ターミナルビルを安全かつ快適な空間として、航空会社や航空旅客に提供する。

また、路線の拡大等、航空会社の動向に合わせ、的確な施設の増強や改造を行い、市等との連携による路線誘致に繋げる。

さらには、空港ターミナルビル内を活用し、イベントや展示を行い、地域のにぎわいの場としての役割も果たしていく。

II 平成 27 年度事業実績

1 航空旅客

今期の日本経済は、政府の各種政策の効果や好調な企業収益により雇用情勢や所得環境に改善の動きが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移した。

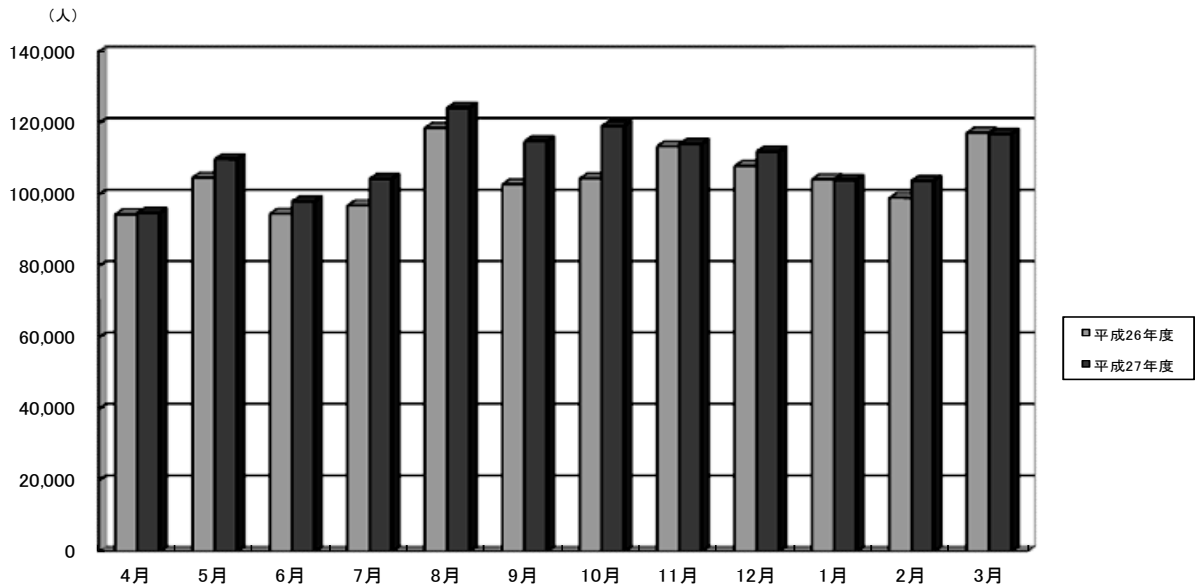
航空業界においては、円安や訪日ビザの発給要件の緩和のほか、格安航空会社（LCC）を中心としたアジアでの国際航空路線の拡充により、訪日外国人客数が大幅に増加し、初めて 2,000 万人を突破した。また、国管理空港の民間委託第 1 号案件である仙台空港において運営会社が決定するなど、空港運営の民間委託の動きが進んだ。

このような状況のもと、当北九州空港においては、国内線では、東京（羽田）線の年間旅客数は約 1,244 千人（前期比 99.5%）で約 6 千人の減と若干の減少となった。また、新規に就航した名古屋（小牧）線の年間旅客数は約 50 千人となった。定期路線にチャーター便（宮古、稚内・丘珠、福島・隠岐等に運行）を加えた年間国内線旅客数は約 1,295 千人（前期比 103.4%）で、約 43 千人の増となり、国内線は過去最大の旅客数となった。

一方、国際線では、年間を通じ定期路線が運休したが、チャーター便については韓国（務安・仁川）、台湾（高雄）・中国（大連）、ベトナム（ハノイ）等に運航し、約 23 千人（前期比 297.6%）の利用があった。

この結果、年間旅客数は約 1,318 千人（前期比 104.6%）となった。

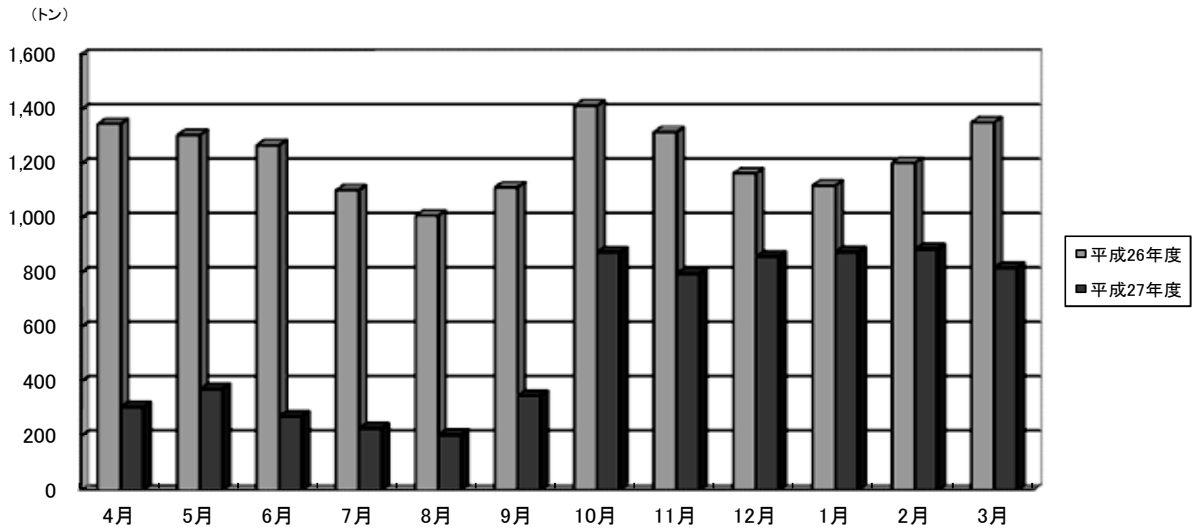
【国内・国際線旅客数（合計）の推移】



2 航空貨物

国内航空貨物は、年間取扱量が約 4 千トン（前期比 36.1%）となった。また、国際航空貨物は、年間取扱量が約 3 千トン（前期比 76.8%）となった。

【国内・国際線貨物取扱量（合計）の推移】

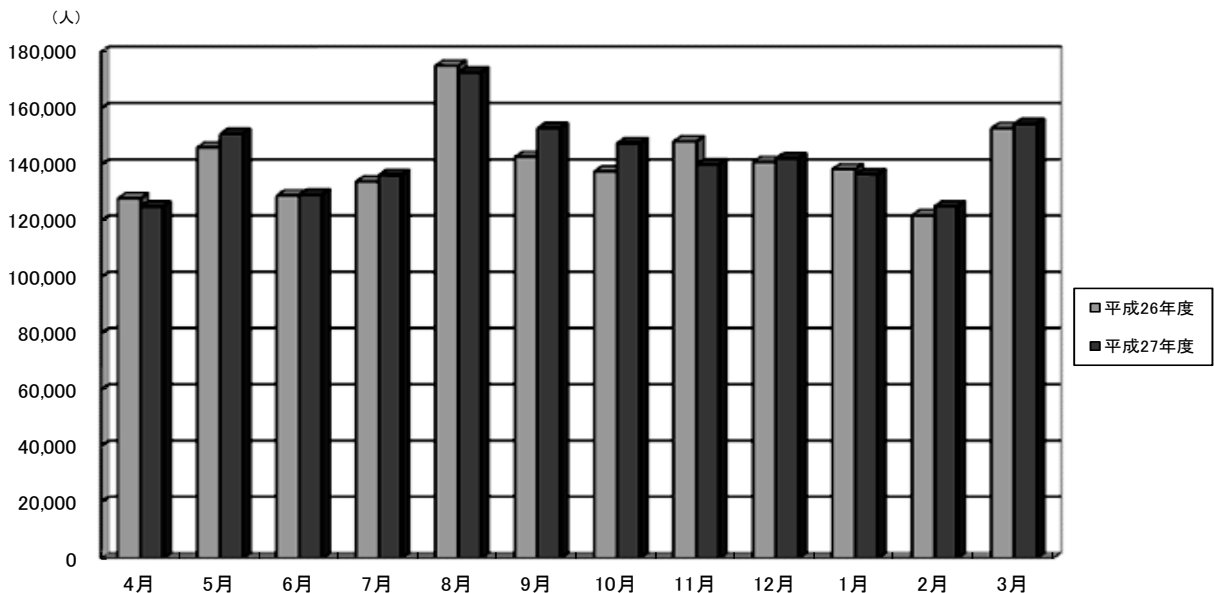


3 旅客ターミナルビル来館者

航空旅客に対して館内での快適な一時を過ごしていただくとともに、航空旅客以外の来館者の集客を図るため、空港周辺の自治体をはじめ、関係団体や関係者に対して、館内での作品展示やイベント等の開催を呼びかけるとともに、当社主催の四季折々を感じさせる多彩なイベントや作品展示会等を実施し、旅客ターミナルビルの「賑わいづくり」に取り組んだ。

また、年間のターミナルビル来館者は約 1,714 千人（前期比 101.1%）であった。

【旅客ターミナルビル来館者数の推移】



【イベント実施状況】

開催時期	主 な イ ベ ン ト 名
4月	田川地区 神幸祭PR、しものせき海峡まつりパネル展
5月	田川地区 神幸祭PR、フラワーアレンジメント作品展、 グリーンパーク「春のバラフェア」PR展示、宮地嶽神社 菖蒲まつりPR展示
6月	七夕飾り
7月	小倉祇園まつりパネル展、名古屋「古墳公園」PRイベント、 小倉競馬場PRブース
7月～8月	ナイトトリップ in 北九州空港（2回開催）
8月	モバイルスペースラボラトリー、夏休みカブトムシ・クワガタ展 in 北九州空港、 都市景観パネル展示、環境イベント
9月	「JAL飛行機の絵」作品展示、都市景観パネル展示、 北九州空港まつり
10月	チャンピオンズカップ感動の写真展、ゆくはし遺産絵画展、 沼楽奉納演舞・春秋太鼓演奏会
11月	しいたけ 原画展、北九州空港菊花展、北海道物産展、空港おいしいまつり、 百万にここにホスピタリティ運動第8回絵画コンクール表彰式&作品展示
12月	イルミネーション点灯式、「池坊」華空会 初冬の花展、しの武おに画展
1月	ぜんざい振る舞い、県立筑豊高校ウェディングドレスファッションショー、 フラワーアレンジメント作品展
2月	京築子ども神楽公演、ふぐ雑炊振る舞い、新池坊作品発表会、 女性俳句大会作品展示
3月	北九州空港アーカイブパネル展示、10周年感謝祭
通 年	豊前街道新鮮市

4 テナント売上増に向けた取組

入店者研修、他空港視察等の各種研修を実施しテナント従業員の能力向上を図った。

また、テナント会店長会議において、航空会社の利用状況や、チャーター便の運航状況等を共有し、販売効率を高める努力を行った。

さらに、テナント会と共同で、「新春鏡開き ぜんざい振る舞い」等を開催し、お客様への日頃の感謝を込めたイベントを実施した。

5 施設整備等

特になし

6 経営状況

当社の経営については、名古屋（小牧）線の就航や国際線における連続チャーター便の運航に伴い旅客数が増加したこと等から、当期売上高は約 733 百万円で前期と比較し、約 47 百万円増加した。

売上原価、販売費及び一般管理費の合計は、約 699 百万円で前期と比較し約 24 百万円の増加となった。また営業外収益は約 29 百万円、営業外費用は約 2 百万円となった。

以上の結果、税引前当期純利益は約 62 百万円、当期純利益は約 41 百万円となった。

Ⅲ 平成 27 年度決算

1 貸借対照表（総括表）

平成 28 年 3 月 31 日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	385,608,463	【流動負債】	111,915,090
現金・預金	324,684,058	買掛金	456,060
未収入金	45,635,241	未払金	32,294,514
商品	493,296	リース債務	4,642,293
貯蔵品	526,924	未払費用	2,118,700
前払費用	9,976,352	未払法人税等	25,873,800
繰延税金資産	4,292,592	未払消費税等	11,675,200
		前受金	25,399,102
		預り金	678,341
【固定資産】	4,206,222,050	預り保証金	5,596,080
(有形固定資産)	3,880,989,426	賞与引当金	3,181,000
建物	3,803,660,610	【固定負債】	397,598,865
構築物	57,553,736	預り敷金	28,496,400
工具器具備品	9,349,449	預り保証金	50,938,720
機械装置	299,620	長期リース債務	6,420,972
車両運搬具	11	退職給付引当金	6,740,053
リース資産	10,126,000	預り建設協力金	175,000,000
		資産除去債務	108,921,362
(無形固定資産)	9,382,524	長期繰延税金負債	21,081,358
電話加入権	124,984	負債合計	509,513,955
水道施設利用権	1,254,375	純 資 産 の 部	
供給施設利用権	8,003,165	【株主資本】	4,078,712,036
		資本金	3,524,000,000
(投資その他の資産)	315,850,100	利益剰余金	554,712,036
投資有価証券	315,550,100	その他利益剰余金	554,712,036
出資金	300,000	繰越利益剰余金	554,712,036
		【評価・換算差額等】	3,604,522
		その他有価証券評価差額金	3,604,522
		純資産合計	4,082,316,558
資産合計	4,591,830,513	負債・純資産合計	4,591,830,513

2 損益計算書(総括表)

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日 (単位:円)

科 目	金 額	
I 売上高		733,325,177
売上高	25,412,331	
家賃収入	244,479,172	
管理費収入	181,851,264	
設備使用料収入	255,812,800	
広告料収入	25,769,610	
II 売上原価		4,789,689
売上総利益		728,535,488
III 販売費及び一般管理費		693,872,664
営業利益		34,662,824
IV 営業外収益		29,434,798
受取利息	61,330	
受取配当金	552,800	
雑収入	27,258,648	
保険金収入	1,562,020	
V 営業外費用		1,857,304
支払利息	1,828,598	
雑損失	28,706	
経常利益		62,240,318
税引前当期純利益		62,240,318
法人税、住民税及び事業税		25,997,667
法人税等調整額		▲4,487,603
当期純利益		40,730,254

IV 平成 28 年度事業計画

北九州空港が 24 時間運用の海上空港であるという特色を活かし、北九州地域の九州・アジアの空の玄関口として、人・モノ・サービスの流通拠点として、より一層飛躍・発展するよう取り組んでいく。

1 航空旅客

国内線については、東京（羽田）線は昨年 2 社ともに減便し、今期はスターフライヤー社が年間 330 便以上の整備運休となり、旅客数が減少する可能性があるため、旅行会社や行政及び団体と連携をとり、PR を実施する等、旅客の減少を最小限にとどめる活動を行う。名古屋（小牧）線は、認知度向上を図ることを目的とし、航空会社や行政及び団体と連携をとり、PR やキャンペーンを実施し、旅客数の増に努める。

国際線については、定期路線の早期就航を目指し、行政や団体と連携し航空会社の誘致を行う。

また、福岡空港が混雑空港の指定を受け新規就航や増便が難しい状況となったことから、福岡空港に就航を希望する航空会社の受け皿として、行政と連携し、北九州空港の PR と誘致を行う。

2 航空貨物

貨物については、唯一の国際定期路線である日本貨物航空の台湾（桃園）→北九州→成田路線の安定的な運航と国際貨物チャーター便の運航を支援するため、引き続き行政や団体と連携し、随時地上支援機材の整備・更新を行うとともに、滑走路 3,000m への延伸実現に向け国への要望活動等を行う。

3 ターミナルビル来館者

ターミナルビル来館者への事業については、各種イベントを実施し集客を図る。新空港開港 10 周年を記念し、北九州空港まつりを例年よりも規模を拡大し実施する。東九州自動車道の全線開通を含め北九州空港圏域の情報発信を強化する。

また、引き続き小学校の社会科見学等の施設見学を積極的に受け入れ、将来の利用者増に繋がる活動を行う。

4 テナント売上増に向けた取組

店員の意識改革や接客マナーの向上等を目的とした研修会を実施し、空港利用者へのサービスを改善し、売上高の維持・向上を図る。

5 施設整備

老朽化した設備等のリニューアルを実施し旅客ターミナルビルの利便性と快適性の向上を図る。また、航空会社の誘致に関し、誘致する航空路線に合わせた施設改修を適宜実施する。

V 平成 28 年度予算

1 収支予算書(総括表)

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日 (単位: 千円)

収 入	営業収入	売上高	25,000	
		家賃収入	246,000	
		管理費収入	182,000	
		設備使用料収入	248,000	
		広告料収入	24,000	
		小 計	725,000	
	営業外収入	雑収入等	27,000	
		小 計	27,000	
	合 計		752,000	
	支 出	営業費用	売上原価	5,000
			人件費	100,000
一般管理費			75,000	
減価償却費			217,000	
水道光熱費			83,000	
租税公課			48,000	
地代			26,000	
管理委託費			158,000	
		小 計	712,000	
営業外費用		支払利息等	0	
		小 計	0	
合 計		712,000		
収 入 - 支 出		40,000		

VI 役員名簿

平成 28 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	片山 憲一	
代表取締役専務	平床 司	
常務取締役	武末 直樹	
取締役	前川 義広	西鉄バス北九州株式会社 代表取締役社長
〃	田中 圭三	日産自動車九州株式会社 取締役執行役員
〃	甲斐 庸恭	苅田町 副町長
〃	前原 典幸	TOTO株式会社 総務本部長
〃	岩井 尚彦	新日鐵住金株式会社 八幡製鐵所 総務部長
〃	栗山 尚志	ANAホールディングス株式会社 グループ経営戦略室 担当部長
〃	廣渡 健	九州電力株式会社 配電本部 部長
常勤監査役	奥 久志	
監査役	川本 惣一	株式会社西日本シティ銀行 取締役副頭取 北九州・山口代表
〃	灰田 利明	行橋市 総務部長